

ほんわ館だより

令和8年9月発行
第168号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 9/7.14.22.28

9月の展示コーナー

★おすすめコーナー

『シニア応援』



★2階掲示板

『映画・ドラマになった小説』

★児童書コーナー

・絵本コーナー 『秋まつりの夜に』
『おでかけ』

・円形コーナー 『みじかいおはなし』

・空中図書コーナー 『日本絵本賞』

・小学生おすすめコーナー 『怖い本』



★ 今月のおはなし会 ★

9月19日(土) 11:00～11:30
場所: ほんわ館多目的室

9月にぴったりの本を
読むよ♪お楽しみに♪

夏休みイベントを開催しました

7月26日(日)『夕涼み浴衣で図書館～怪談ナイト～』、8月1日(土)～8月9日(日)まで『ほんわ館からの脱出3』を開催しました。『ほんわ館からの脱出3』では脱出アイテム「リストバンド」を手にした子どもたちの元気な声が8月の猛暑を吹き飛ばしてくれました！たくさんのご参加ありがとうございました。

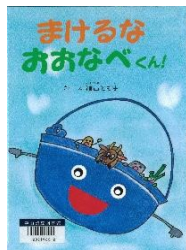
ほんわ館の木にたくさん葉っぱが茂りました♪参加した皆さんからのコメントがいっぱいです



新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

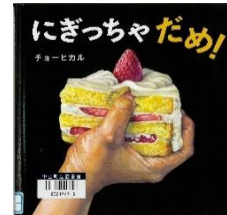
【児童書(えほん)】



◀『まけるな おおなべくん!』
福山とも子 // さく え
みらいパブリッシング



◀『うつくしい!』
谷川俊太郎 // 文
川島小鳥 // 写真
偕成社



◀『にぎっちゃだめ!』
だめ! // 著
チョーヒカル // 著
白泉社

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
永遠の記憶(ガリオ11)	東野 圭吾 // 著	つかめ! 理科ダマン12	シンテファン // 作
アクリル	井上 荒野 // 著	夢をかなえるゾウ1 子ども版	水野 敬也 // 作
殺し屋の出世術	野宮 有 // 著	ひらめけ! 算数ドカン!	リュ ギウン // 作
おにがわらう(しゃばけ25)	畠中 恵 // 著	べんきょうしくちゃダメですか?	村上 しいこ // 著
きよくしぶとくやかましく	寺地 はるな // 著	友だちいないとダメですか?	令丈 ヒロ子 // 作
ジウThe Next	菅田 哲也 // 著	【教養書】書名	編著者名
楽園	夕木 春央 // 著	それ、AIで作れます。	安藤 昇 // 著
小石川養生所青春譜	砂原 浩太郎 // 著	タリバンの世界	川上 珠実 // 著
夜想い	住野 よる // 著	薬になるスマホ	菅原 道仁 // 著
ミサゴの守る町	砥上 裕将 // 著	農家が教えるサンショウづくし	農文協 // 編
能面検事の挫折	中山 七里 // 著	ほほえんで生きるための人生相談	美輪 明宏 // 著
王国	湊 かなえ // 著	筋トレ解剖図鑑	坂詰 真二 // 著
スナックふたり	川上 弘美 // 著	一冊でわかる中国史	岡本 隆司 // 監修
ハヤブサ消防団2 森へつづく道	池井戸 潤 // 著	東京ディズニーシーパーフェクトガイドブック	ディズニーファン編集部 // 編



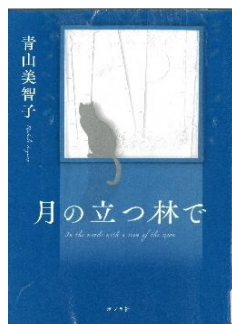
本の歳時記



一秋の夜長に・・・



毎年9月3日は何の日かご存知でしょうか?「ぐっ(9)すり(3)」という語呂合わせから「秋の睡眠の日」とされています。ちなみに「睡眠の日」は春(3月18日)と秋(9月3日)の年2回あり、後者は2011年に日本睡眠環境学会と日本睡眠学会によって制定されました。さて今回は仕事の疲れや頑張った自分をリセットして気持ちのいい朝を迎えたいあなたにおすすめの本を紹介します。秋という過ごしやすい季節を生かし、「睡眠の質」を高めましょう。



『月の立つ林で』

『月の立つ林で』(青山美智子//著 ポプラ社)

静かな森を舞台に人々の心の揺れや小さな希望を丁寧に描いた短編集です。物語に登場するのは、毎日の生活の中で迷いや不安を抱えながらも必死に前を向こうとする人々。彼らがふと立ち寄る「月の立つ林」はまるで心の中にある休憩の場所のようにそっと寄り添ってくれる作品です。



『夜のピクニック』

『夜のピクニック』(恩田陸//著 新潮社)

高校の伝統行事「歩行祭」で一晩かけて80キロ歩く生徒たち。夜の静けさ、足音だけが響く夜道。月の光に照らされた校舎の影。そんな非日常の時間の中で主人公たちはふだんは言えない想いと向かい合い、すれ違っていた気持ちの距離が少しずつ縮んでいきます。大きな展開はないけれど、心の奥がそっと温まる作品です。読み終えた後、夜の澄んだ空気を吸いに出たくなるような余韻が残ります。



『読むだけで深～い眠りにつける10の話』

『読むだけで深～い眠りにつける10の話』

(菊地克仁//著 白川修一郎//監修 あさ出版)

疲れているのに「どうして眠れないんだろう」「どうすればぐっすり眠れるんだろう」こう考えれば考えるほど眠れないといった経験はありませんか?これが習慣化してしまうと肉体的にも精神的にもヘトヘトになります。この本に載っている10の話は、眠りに誘う言葉であなたを休ませてくれるでしょう。

ほんわ館で読まれています

『のほほん人生』

(原 宏一//著 双葉社)



ほっこり笑顔の普通のおばちゃんだけど、鮎を握ったら超一流の雅代。東京・浅草にある老舗鮎屋が大ピンチ!? かつての修行先の危機に雅代が立ち上がる。シリーズ第3弾。

『夜の恩寵』

(三浦しをん//著 集英社)



夢見の力(予知夢)がある祖母をもつ未千は、21歳の誕生日に高熱に浮かされて以降、それまで見ることのなかった夢を見るようになり…。 “カリスマ”がテーマの5つの物語を収録。

『青天』

(若林正恭//著 文藝春秋)



高3の中村昂が所属するアメフト部は、万年2回戦どまり。引退後は、みなが受験に向かうなか、勉強にも気持ちが入らず、自分自身の不甲斐なさにもがき続けるなかで、再びアメフトと向き合う決意を固める。

『夏帆』

(村上 春樹//著 新潮社)



「君みたいな醜い相手は初めてだよ」26歳の絵本作家・夏帆は、初対面の男にこう告げられた。怒りよりもショックよりも、ただ純粋に驚いた。それから夏帆の周りで奇妙な出来事が起こりはじめ…